

## 苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 22 回 定例委員会
日時	平成21年12月25日 自 14時57分 至 16時47分
場所	苫小牧市役所第2庁舎 2階会議室
出席委員	委員長 吉本 俊憲 委員 鈴木 正樹 委員 佐藤 郁子 委員 佐藤 守 委員 山田 眞久
欠席委員	
会議録署名委員	佐藤 守 委員
会議録作成職員	総務企画課総務係主事 平田 拓也
事務局職員	学校教育部長 須藤 孝生 スポーツ生涯学習部長 小野寺 徹示 学校教育部次長 福田 小夜子 総務企画課副主幹 柿崎 隆 総務企画課総務係主事 平田 拓也
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（吉本委員長） …14時57分
2	会議録署名委員の指名（佐藤守委員）
3	報 告（教 育 長）
	・暮れも押し迫り、中学校は22日に小学校は本日終業式を終え、明日から冬休みに入る。しかし、今年は新型インフルエンザの影響で約3分の1の児童生徒が罹患し、ほとんどの学校が学年閉鎖や臨時休校の対応をとった。そのため、学校教育法施行規則で定められている年間授業時間数の確保が難しくなり、冬休みの短縮に踏み切った学校もある。また、平日の授業時間を延長し終業式や始業式にも授業を行ったり、冬休みに登校日を設けて授業を行うなど、各校様々な工夫をしているところである。公教育の基本は教育の機会均等であり、施行規則で決められている授業時間の確保が求められていることをご理解いただかなければならない。
	・先月の教育委員会後の出来事を振り返りたい。11月20日に樽前小学校で全道僻地複式教育研究会のプレ大会が開かれ、27日には学校教職員の永年勤続者30年表彰を道教委に代わって行った。28日には15校の代表者による中学生主張発表大会が開かれ、この日は山なみ祭も行われた。30日には秋の叙勲祝賀会があり、教育では平沼文団協会長が高専時代のご功績で受賞された。12月3日から12日までは、第14回定例会が開かれ、19日にははなぞの幼稚園の発表会が行われた。また、先日22日には田中コンサルタントから交通遺児基金への寄付をいただいた。
	・12月ということで、今年一年の全国的な教育のニュースや北海道の話題を振り返りたい。1月は道教委のモンスターペアレントの実態調査、中学3年女子の自殺事件があり、自殺については、毎月のように報道があった。大変痛ましい残念な出来事である。携帯電話の学校持込を禁止するということが大きく取り上げられた。2月に入り大学生の大麻汚染、高校生の就職内定の取り消しなどの問題があった。3月に入り卒業証書を授業料滞納の生徒から取り上げていたことや、犬山市の学力テスト参加な



<p>どが話題となった。4月には、第3回の学力調査が100%の参加率で実施され、5月から新型インフルエンザが発生。カナダから帰国した高校生からスタートしたが、その後、渡航歴のない神戸の高校生に飛び火し一気に全国に広まった。6月には北海道で教員免許を持たずに20年間も授業をしていた教員の存在が話題となった。7月は高校野球で開会式に出かける前に事件が起こったこと、8月は学校基本調査で不登校者数が1.9%下がっているが、126,800人もいることが判明した。また、中学校教科書の採択時期であり、ほとんどは従来どおりとなったことや、学力テストの結果公表、民主党による政権交代があった。9月に入り、夕張でいじめによる自殺が疑われる事件があり、10月には教員免許更新制の廃止に係わって新しい制度の方針が示され、学力テストについて来年度は4割の抽出で実施することが発表された。</p> <p>11月は北海道教職職員の不祥事がいくつか話題となり、沖縄県で中学2年生が集団リンチ事件により死亡するという悲惨な事件が起こった。12月に入り、全国問題行動調査結果が発表され、暴力行為が13%増の59,618件、いじめは16.3%減の84,648件であった。本年度の体力調査の結果が発表され、北海道は今回も全国平均より低く、本市も同じ傾向を示した。また、道内で校内の器物損傷事故が数件起きた。最近では、札幌の中学3年が覚せい剤で逮捕された事件があった。本市では、全道の中体連が1月にあり、3月には第二学校給食共同調理場煙突のアスベスト飛散事故があった。4月には教育センターのオープン、青翔中の開校、特別支援学級の情緒学級教室が開級。8月には宇宙に行った桜が帰ってきたり、ミール館が10周年を迎えるなど明るい話題があった。9月はねんりんピック、10月には道の駅がオープンし、子ども会議で考えたお弁当が売り出された。今月に入り、東小・啓明中・明倫中が全国マーチングバンド大会に出場することになった。一年間を振り返ると本当に様々な出来事があったと感じる。</p> <p>・第14回の定例市議会の内容について、概要報告させていただく。学校の適正配置に係わって、拓勇小学校のプレハブ校舎はいつまで続くのかと質問があり、現状では更に足りなくなることが予想されるため、早い時期に校舎の増設や既存校舎の改修を</p>
--

<p>検討しなければならないと考えている旨説明した。公務補が振替休日を取得していないことについては、条例を改正して対応していきたいとした。はなぞの幼稚園の存続理由を問われた質問には、校長会議に園長も参加する等小中学校と共通理解を図っていること、中学生の職業体験の場であること、市の子育て相談の中核にもなっていること、或いは、保育料が安いことも経済的な格差を埋めており、公立としての役割を果たしている旨答弁した。しかし、定員を満たしていないという問題があり、延長保育や3歳児の受け入れでもしなければ難しいのではないかと考えている。学童保育のNPOじゃがいもクラブについては、今後予算化していきたいと回答。給食調理場の民間委託については、市長答弁の中でも、避けて通れない行革であり検討中であると説明した。また、学力テストについても質問されたが、経費負担の問題があり実施するかどうかは決定していないと答弁した。アレルギー対応については、今のところアナフィラキシーを起こした子はいないが、今後、学校現場を含めて考えたいと答えている。部活に民間の指導者を増やしたら良いのではないかという意見もあったが、予算が伴うので現実的には難しく、まずは、顧問を全学校に置かなければならないという規制を緩和できないか、中学校長会と相談しながら道教委等に申し出ていきたいと考えている旨説明した。他にも、不登校問題の対策、文化芸術振興の現状について等、様々な意見・質問が寄せられた。</p>
<p>・最後になるが、先般、管理職の人事異動があり、拓勇小学校の一般教諭で教頭登録されていた三木啓道教諭が12月1日付けで萩野中学校の教頭として赴任した。</p>
<p>(吉本委員長) 学力テストの40%抽出について、国の考え方はどのようなものなのか。</p>
<p>(教 育 長) 正式にはまだ何も決まっていないが、これまでの抽出調査から考えると国から学校名を指定する又は市に一任するという形になると思う。</p>
<p>(吉本委員長) 電子黒板やテレビのデジタル化の申請はどうなったのか。</p>
<p>(学校教育部長) 一次募集で申請したため、受け入れられた。</p>



(佐藤守委員) 部活動の関係で合同チーム多くなっているが、各校に顧問がおり、大会の際などは全部の学校の顧問が同行するため、顧問の移動費などの保護者負担金が多くなってしまうという話を聞いている。顧問の先生は全員でなく数名同行すれば良いという形にはできないか。
(教 育 長) ご指摘のとおりであるが、教育の一環ということもあり、顧問が付いていかなければならないことになっている。中学校長会も中体連に話をしていると思うが、教育長会議等でも話題にしたいと考えている。
4 議案審議
議案第一号 「NPO法人地域学童クラブの市委託に関する陳情」について
(スポーツ生涯学習部長)
・NPO法人地域学童クラブの市委託に関する陳情について、説明させていただく。
(以降、議案第一号資料を読み上げ) 市としては、新年度予算に計上したいと考えている。以上の内容について審議の上、承認いただきたい。
(吉本委員長) 補助金を道から受け取るために、クラブに市職員を配置しなければならなかったのか。
(スポーツ生涯学習部長) 常勤ではないが、協議会のメンバーになっていることが必要であった。そのことにより道の補助が受けられるようになり、平成16年11月に出された陳情は取り下げられた。
(吉本委員長) 補助金はどのくらい必要になるのか。
(スポーツ生涯学習部長) 130万程度必要になると思う。
(佐藤守委員) 国や道からの補助金は、クラブに直接支払われているのか。

(スポーツ生涯学習部長)	一旦市に交付され、市からクラブに支出している。
(吉本委員長)	事業計画や決算報告はどこに提出しているのか。
(スポーツ生涯学習部長)	市から支出しているため市に提出いただいている。
(吉本委員長)	当該団体の実際の総事業費はどのくらいなのか。
(スポーツ生涯学習部長)	6～700万だと思うが、かなりの部分をボランティアで賄っている ようだ。
(吉本委員長)	留守家庭児童会との違いは何か。
(スポーツ生涯学習部長)	留守家庭児童会の利用料は平日無料で、長期休業のみ有料としている。 また、対象は1年生から3年生までの児童で、障害児を受け入れているのは1箇所のみである。受け入れ時間もじゃがいもクラブに比べると短い。
(鈴木 委員)	平成16年に市の委託業務として認めた時点で、なぜ補助金を出さなかったのか。
(スポーツ生涯学習部長)	人数や実施日数等の基準があり、それを満たしていなかったため補助対象とならなかったと理解している。
(吉本委員長)	現時点ではその基準を満たしているのか。
(スポーツ生涯学習部長)	満たしている。
(鈴木 委員)	他にも同様の団体があると思うが、基準を満たせば全ての団体に補助金を出すということになるのか。
(スポーツ生涯学習部長)	基本的には基準を満たせば出すことになるが、行政としてすべての学校区で留守家庭児童会を展開している中で、重なる地区の団体に補助金を出すことはどうなのかという疑問が残る。他都市でも広がりを見せているが、1つの学校区に1箇所と決めているところもある。
(吉本委員長)	学童保育は今後増加していくことが予想されるので、長期計画としてどのように整備を図っていくか考えていかなければならない問題ではないか。

(佐藤郁委員) 市とじゃがいもクラブ双方の考え方に違いや誤解があるようなので、
この機会によく話し合い、改めて今後の方向性を示し、相互理解を図
ることが大切だと思うが。
(教 育 長) 国・道・市が3分の1ずつ補助を行うのが、補助の基本的な考え方だ
と思う。道の要綱では3分の1を市町村が補助しなさいとはなってい
ないためペナルティはないが、それは本旨ではないということ。
(佐藤郁委員) 支庁が言っていることは間違いではないし、その誤解を取ることが先
決であると思う。これからも同様の申請があると思うので、適切など
ころに適切なお金が配分されるようにしていただきたい。
(吉本委員長) この陳情については、提案のとおり対応していただき、将来に向けて
明確でわかりやすい基準を設けた上で、次年度の概算要求に対応して
いただきたい。そういうことで本件について承認してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
—原案どおり承認—
議案第二号 教職員の処分について
(人事案件のため、秘密会とする旨議決する)
議案第三号 教育委員会職員の処分について
(人事案件のため、秘密会とする旨議決する)



5 協 議
協議第一号 「平成21年度教育委員会点検・評価報告書」について
(学校教育部長)
・昨年度の法改正により、作成する必要が生じた。今年度は2回目となる。詳細については、担当から説明させていただく。
(総務企画課副主幹)
・平成20年度を対象とした平成21年度教育委員会点検・評価報告書について、説明させていただく。(以降、協議第1号資料に基づき説明)
(学校教育部長)
・本日の委員会では、外部評価について、昨年度は市PTA連合会と文化団体協議会から2名の方に評価していただいたが、今年度は学識経験者とスポーツ関連団体の方2名を追加して4名で評価を行っていただくよう変更したいと考えており、それについて協議をお願いしたい。内容については、本日お示ししたばかりなので、次回の委員会までに目を通していただき、その間に外部評価をいただこうと考えている。
(吉本委員長) 特に異議がなければ、了解してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
6 その他
その他案件なし



7 委員会閉会の宣言（吉本委員長）…16時47分